

社会福祉法人豊恵会

2020年度 事業報告書

1. 全体

前年度に引き続き、障害者就労継続支援A型事業を行いました。組織の改変、利用者の定員等の変更はありませんでした。

評議員会、理事会を下表のとおり開催し運営にあたりました。

表一 評議員会・理事会開催の経過

会議名	年月日	主な審議・議決事項
決算理事会	令和2年6月13日	令和1年度決算承認の件
決算評議員会	令和2年6月27日	令和1年度決算の件
臨時理事会	令和2年11月7日	コロナ融資借入の件
予算理事会	令和3年3月27日	令和3年度事業計画並びに予算の件

この他、文書による業務執行状況報告がなされた。

※理事会・評議員会議事録は、本部にて、常時ご覧いただけます。

2. 福祉事業

利用契約者は、期首26名、期末24名、年度内に2名が退社しました。利用率は、80%以下の月は無かった。

- ① サービス提供日数は、各月とも〔月日数-8〕日を予定しましたが、大型台風接近で2回、大雪で1回臨時休業しました。このうち2回は振替日を設けました。
- ② 年度を通じて、障害者の受け入れ・個別支援計画の作成、利用者負担額等の請求・受領、介護給付費請求・受領及び利用者の相談・苦情処理等の必要な福祉関連業務を実施しました。
- ③ 職員・利用者相互間の融和を図るためのレクリエーション行事は、コロナ禍の折から、屋外が主体となる「芋掘り会」のみ行いました。
- ④ 職員の各種研修会への参加
新型コロナウイルス汚染下、職員の移動を控えたため参加を見送りました。

3. 就労支援事業

◎菌糸商品の製造

昆虫飼育関連の菌糸商品の動きが良く、受注が活発で積極的に仕込んだため、仕込作業は、205釜(日)となった。特に、培養産卵材については、多量の受注残を抱えた状況で推移し、来期まで持ち越しの状況となっている。

仕込は、これまでと同様に、週4回を堅持し、原則、月～金勤務、土日休日体制を執りました。仕込の概要は、表-工場仕込・培養袋数に示します。

表-工場仕込・培養袋数

月	仕込釜数	菌床生産	うちキクラゲ	受託生産品	うち培養産卵木
4	18	9,310	3,558	2,928	1,784
5	14	6,432	1,748	3,390	2,151
6	17	9,292	6,224	3,336	1,777
7	18	10,660	6,652	3,295	1,111
8	14	6,952	4,018	3,282	504
9	16	7,505	3,504	4,606	1,453
10	17	6,739	2,788	4,700	1,510
11	15	7,438	4,703	3,265	1,262
12	17	9,532	3,639	3,482	1,538
1	17	8,303	2,355	2,582	1,126
2	17	7,906	2,222	2,510	1,172
3	18	9,857	5,454	2,985	1,475
当期	205	99,926	46,865	40,361	16,863
前期	200	99,894	57,499	36,521	18,419

※①受注生産品の「培養産卵木」は原材料の入手難から実質仕込み量は減少している。売上が増えたのは、販売単価の値上げもさることながら、菌糸ブロックの受注が派生的に増えたことが大きい。

※②菌床全体では前期と大差なく、クワガタ飼育関連商品の仕込みが増えた。

※③霊芝およびアラゲキクラゲは夏場のキノコで、仕込時期が重なるため周到な仕込計画をたてる必要がある。アラゲキクラゲの仕込み量が減っているのは霊芝との競合によるところが大きく来期は入念な調整を要する。

◎きのこ栽培

自家栽培は、前期同様に採算ベースに乗りにくい種類は極力栽培数量を減らし、安定した売上を示しているアラゲキクラゲ・シイタケ・霊芝に力を注いだ。

霊芝は、露地栽培から施設(ハウス)栽培への切り替えに伴い、予定数量(乾物1t)の半分以上を外部へ委託する事とし、自前のハウス設備の限界量で栽培、300kgを生産した。

アラゲキクラゲは、宗像(志水企画)送りで販売したが、760kgと前期を下回った。乾燥品は、コロナ禍による学校給食のストップの影響を受けたものの、常に在庫のない状況で推移した。

シイタケは、良品が採れる「岬」からシフトを変え、「HB3」を増やし、売れ残る時期はカット加工した。相当量をスライスとして、順次販売する方針をとった。

4. 収支

2020(令和2)年度「東上きのこ苑」事業収支は、ほぼ下表のとおりとなりました。

区分	科目	当初予算額	決算額	摘要
福祉収入	自立支援給付金	36,000	35,195	
	利用者負担金	1,000	1,064	
	補助金収入	4,500	2,487	補助金激減
	福祉収入計	41,500	38,746	- 2,754 前期比 - 2,745
福祉支出	人件費	26,000	23,884	- 2,116
	事業費	1,800	1,778	
	事務費	5,800	6,310	+ 510
	福祉支出計	33,600	31,972	- 1,628
福祉会計収支		7,900	6,774	- 1,126 前期比 - 2,041
就労収入	菌床売上	13,000	18,267	+ 5,267 霊芝菌床売上増
	きのこ売上	18,500	13,913	- 4,587 霊芝売上減
	受託製造売上	12,000	16,086	+ 4,086 前期比 + 2,177
	昆虫事業売上	2,000	1,320	- 1,120
	就労収入計	45,500	49,586	+ 4,086 前期比 + 3,140
就労支出	労務費	26,000	24,598	- 1,402 利用者の減少
	材料費	13,000	13,573	+ 573 前期比 - 580
	外注加工費	400	811	+ 411
	製造経費	7,500	6,399	- 1,101 前期比 - 1,084
	販管費等	0	159	+ 159
	就労支出計	46,900	45,540	+ 1,360 前期比 - 1,699
就労会計収支		-1,400	4,046	+ 5,446 前期比 + 4,839
支払利息		650	535	
合計収支		5,850	10,285	

※注：本表の金額は、月毎の試算表から拾った数字で、本決算の数字とは若干異なります。

詳細については決算書類を参照下さい。

福祉会計：利用者の漸減および補助金の削減により、厳しい決算となった。今後、これまでなしえなかった、職員の待遇改善を図るには介護給付費のポイントアップが望まれる。

就労支援会計：前期に比し、売上は6.8%伸び、中でも受託生産品が前期比3,150千円の増となった。「菌床」および「きのこ」売上に変動が見られるのは、「きのこ」の霊芝栽培を外部に移した関係で売上が減少しているものの「菌床」は売上に転じたためである。支出は、3.6%減少となったが、その要因は大きな修繕費が発生しなかったためである。